

月見山擁壁修景デザイン検討

平成11年3月 阪神高速道路公団（現 阪神高速道路株）



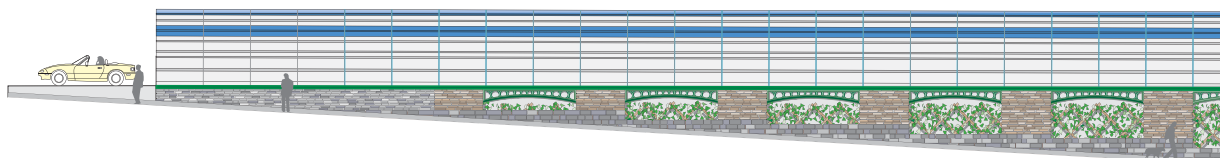
高速道路ランプ出路部の擁壁は、大きな面で構成されているため、側道に対して圧迫感を与えるものとなっている。

圧迫感や重要感などの軽減を目的として、面の分割、フィルターとしての素材選定、視覚的な面の削減といった手法を基本に、擁壁面のあり方、美装案を作成した。

- keywords
- 計画条件の整理
 - 修景デザインの考え方
 - 擁壁修景デザイン検討



石材による美装化案



登はん性のある緑化による修景イメージパース